



ビーチクリーン活動、いざ出陣！

記事

- ◇「第10回宮崎海岸侵食対策検討委員会」開催報告
- ◇「第6回 石崎浜ビーチクリーン」実施報告

「第10回 宮崎海岸侵食対策検討委員会」開催報告

国土交通省と宮崎県は、海岸工学や自然環境の専門家、地元や海岸利用の有識者からなる「宮崎海岸侵食対策検討委員会」（以下、「委員会」）を開催しています。

12月13日に開催した第10回委員会では、「宮崎海岸の侵食対策（案）」における「突堤の規模、構造、施工順序等」、「隠し護岸の具体的な構造、安全性等」について討議しました。



第10回委員会の様子

宮崎海岸の侵食対策

目標

海岸の環境や利用と調和を図りつつ、背後地（人家、有料道路等）への越波被害を防止するために、「浜幅 50m の確保」を達成することを目指す。

機能①北からの流入土砂を増やす

【中長期】：宮崎海岸北側や河川からの流入土砂の増加など
【当面】：養浜の実施（関係機関が連携した養浜を実施）

機能②南への流出土砂を減らす

補助突堤② 補助突堤① 突堤
(50m) (150m) (300m)

機能③浜崖頂部高の低下を防ぐ

動物園東 一ツ葉有料PA
表面を砂で覆った埋設護岸を設置

機能①北からの流入土砂を増やす

(1) 養浜をすすめる

・失われた土砂の回復のため、養浜を実施

(2) 養浜の位置と方法

・砂の動きや養浜の利点（補助・本格的な対応可能）を考慮し、北側（大炊田海岸側）や侵食の著しい箇所を実施
・試験養浜結果を踏まえ、陸上養浜・海中養浜を関係機関との連携により実施

(3) ステップアップの方法

・当面は、関係機関と連携した養浜を実施
・地形測量や各種モニタリングを実施し、投入位置や量を決定
・関係機関と連携した、様々な手法による養浜を検討
・中長期的には、宮崎海岸北側や河川からの流入土砂の増加など、砂浜の回復・維持を目指した様々な取り組みを実施

機能②南への流出土砂を減らす

(1) 突堤と補助突堤を設置する

・効率的に海岸の土砂を回復させるため、北から南に動く養浜砂を直接止める（捕捉する）突堤を設置
・効果の早期発現のため、補助突堤を設置

(2) 突堤・補助突堤の配置と規模

・砂の動き（北→南）、一ツ葉PA前の砂浜消失状況、海岸線の設置状況を考慮し、住吉海岸離岸線の北側に配置
・突堤は、砂の動きの激しい水深約5mの位置を目安に、岸から300mの規模を設定
・補助突堤は、岸から150m、50m（南側より）の規模

(3) ステップアップの方法

・構造物を海中に施工することから、自然現象の複雑さと社会環境・自然環境の変化に対する未来予測の不確実性に特に留意し、徐々に突堤を伸ばす
・地形測量や各種モニタリングを実施するとともに、併せて環境・景観・利用の関係者からの声を聴くことにより、毎年度効果・影響を把握する
・把握した効果・影響について、改善や工夫ができることはないが、看過できない現象が生じていないかなどの観点から検証を行い、必要があれば計画を見直す
・検証の結果、計画を見直す必要がなければ、引き続き徐々に突堤を伸ばす

機能③浜崖頂部高の低下を防ぐ

(1) 表面を砂で覆った埋設護岸を設置

・越波・浸水の防止に対し、自然堤防として重要な役割を果たす砂丘の高さを確保するため、埋設護岸を設置
・できるだけコンクリート以外の材料を使用すること、養浜の実施箇所を工夫し、護岸の表面を養浜で覆うことで、環境・景観・利用に配慮

(2) 対策の位置と規模

・自然浜区間の浜崖頂部高の低下が懸念される箇所（動物園東および大炊田海岸など）で実施
・暫定天端高（海抜(T.P.)+5.5m)で当面施工し、モニタリング等を実施し、完成形として必要な天端高を決定

(3) ステップアップの方法

・素材・形状等について、引き続きその実現性（安定性、耐久性等）を検討したうえで決定

この対策は「宮崎海岸トライアングル」、「宮崎海岸ステップアップサイクル」を継続しながら進めていきます。
・宮崎海岸ステップアップサイクルに基づき、①地形測量、②環境調査、③利用調査等の各種モニタリングにより、侵食対策の効果を確認しつつ、修正・改善を加えながら、段階的に整備を進めます。
・侵食対策の効果や修正・改善については、侵食対策検討委員会やモニタリング分科会、技術分科会において検討を実施します。
・宮崎海岸市民談話所を適宜開催し、モニタリング調査結果の報告、侵食対策実施状況の確認、それらの修正・改善について談話していきます。また、市民と連携したモニタリング調査も模索していきます。

討議の結果、

- ・侵食対策については、上記のとおりとする。
- ・3つの対策（養浜、突堤、埋設護岸※）は、いずれも段階的に施工を進め、それぞれの対策の施工は、できる限り並行して進めていく。
- ・当面5年程度は、突堤と養浜の施工を最低限進めて砂浜の回復を図るとともに、同時に埋設護岸※の施工を進めるという方針で対策を行う。

以上のことが了承されました。

また、事務局から関連事項として、平成23年7月、9月の台風通過に伴い養浜砂の流出および浜崖の後退が確認された住吉海岸と大炊田海岸に養浜を行う応急対策を実施すること、並びに、国土技術政策総合研究所が動物園東でサンドパックによる試験施工の準備を開始していることを報告しました。

※「埋設護岸」とは、今まで「隠し護岸」と呼んでいたものを名称変更したもので、内容は変わりません。

「第6回 石崎浜ビーチクリーン」が行われました！

石崎浜の利用マナー向上のために活動している「宮崎の海岸をみんなで美しくする会（以下、「美しくする会」）」主催の「第6回 石崎浜ビーチクリーン」が12月10日（土）に開催されました。

今回は、通常のゴミ拾いに加え、台風通過後に海岸に漂着している流木・木くずの集積も行いました。これは、宮崎県の協力により流木等の漂着ゴミの運搬・処分も可能となったことによるものです。

寒い中、早朝からの実施でしたが、地元住民のみなさんをはじめ100名近くの参加がありました。ゴミ拾いと並行して、流木を運んだり、大量の木くずをかき集めるなど、人の手による地道な作業を行い、約1時間半でいくつもの漂着ゴミの山ができました。今回集積した漂着ゴミは、1月末をめどに順次、運搬・処分されます。

ビーチクリーン活動を続けることで、砂浜に落ちているペットボトルやプラスチックのゴミは徐々に減ってきているのですが、不法投棄のゴミは依然なくなりません。不法投棄をしない環境づくりが今後の課題となっています。

美しくする会では、海岸に関心をもっといただくには「多くの人びとに海岸に目を向けていただくことが重要」との認識から、今後も引き続きビーチクリーンを実施します。

次回は、アカウミガメの産卵期前の5月頃の実施を予定しています。



人海戦術による流木・木くず拾い



集積された漂着ゴミの山



不法投棄をなくするのが今後の課題

平素より当所の活動に対し格別のご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

「海岸よろず相談所」では、みなさまに海岸事業に関する情報をわかりやすくお伝えするために『海岸よろず相談所だより』を発行しております。

2012年も、海岸よろず相談所一同、より一層励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

かいがん そうだんしょ
○海岸よろず相談所○

こくどうつうしょう みやざきかせんこくどうじむしょ みやざきかいがんしゅつちようしょ
【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>





よい一年になりますように！

記事

- ◇ 大炊田海岸、住吉海岸で応急対策工事に着手
- ◇ 宮崎海岸の情報コーナーを設置しています

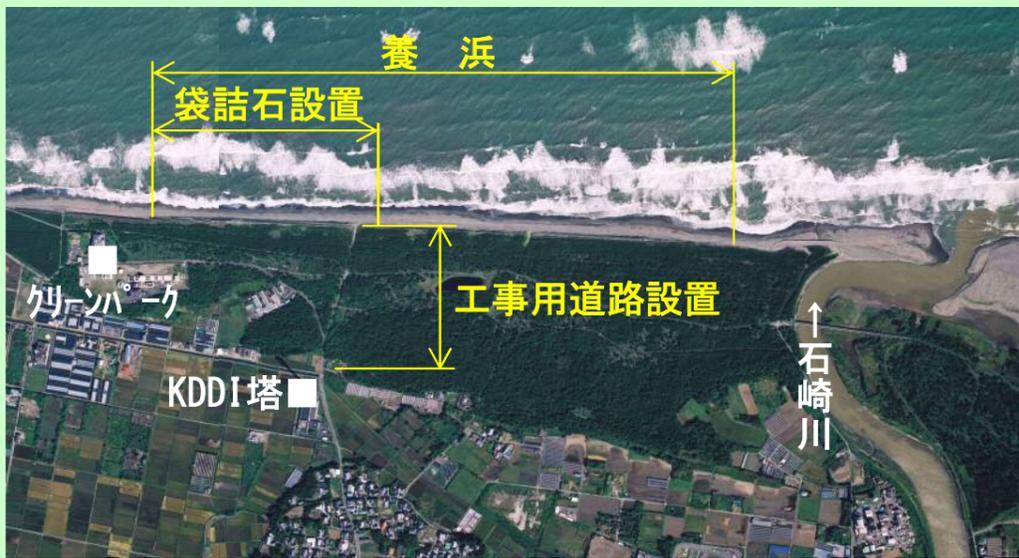
大炊田海岸、住吉海岸で応急対策工事に着手

昨年夏の台風通過に伴い、KDDI塔東の大炊田海岸では砂丘が最大約17m陸側へ後退しました。また、動物園東の住吉海岸では養浜砂が流出するとともに砂丘が最大約7m陸側へ後退しました。

そのため、本誌第29号でお知らせしたとおり、国土交通省では砂丘のさらなる後退を抑制・軽減するための応急対策工事を実施します。

工事に先立ち、昨年中に関係機関調整・地元説明・工事の準備などを行い、今月から本格的に工事に着手しています。本誌では工事の進捗状況、工事完了までの予定をお知らせします。

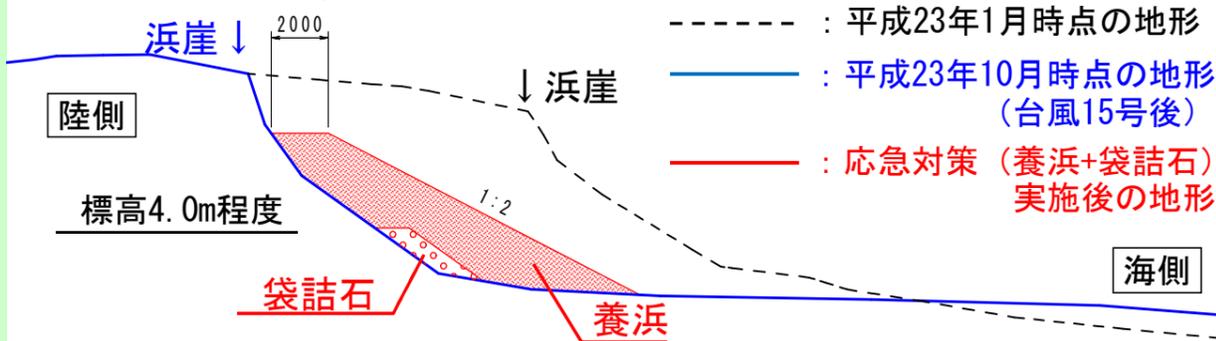
大炊田海岸



工事用道路設置（アスファルト舗装）のため掘削作業中（H24. 1. 18撮影）



○大炊田海岸の代表断面図



※養浜：砂浜の安定や回復のため、砂浜や海に土砂を人工的に供給すること
 ※浜崖：砂丘が波で削られてできる崖

袋詰石のイメージ写真



袋詰石：こぶし大の石をネットに詰めたもので、主に洗掘（流水で土砂が削り取られる現象）対策として用いられます。

○工事工程

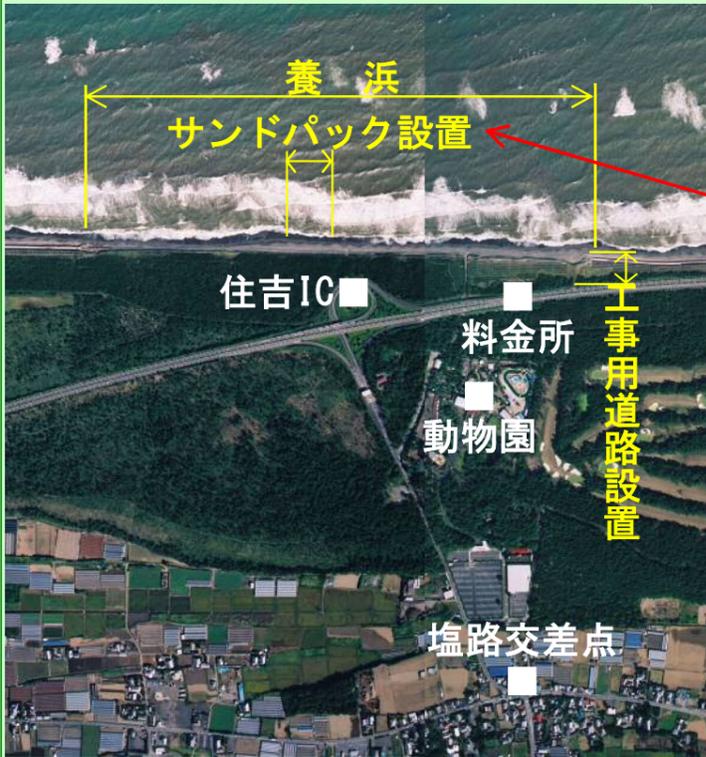
作業内容	1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
工事用道路設置	←————→								
養浜				←————→					
袋詰石設置				←————→					
後片づけ									←————→

※工程は天候等により前後する場合があります。

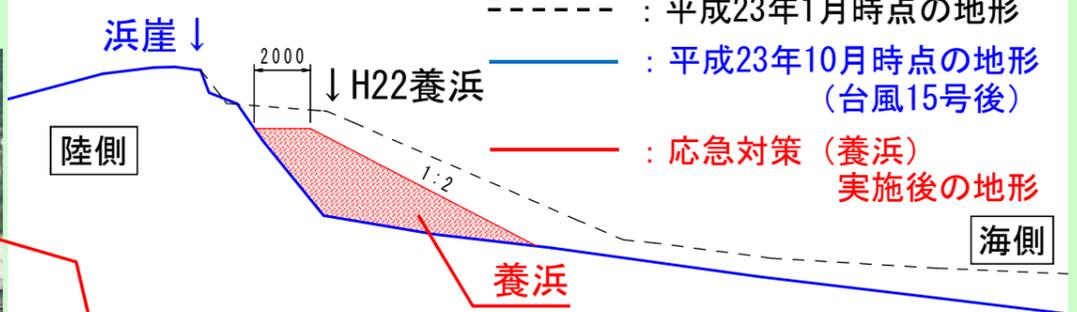
工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。
 なお、工事に関するお問い合わせは「海岸よろず相談所（連絡先は裏面に記載）」にご連絡ください。

裏面へつづく

住吉海岸（動物園東）



○住吉海岸の代表断面図



- ※養浜：砂浜の安定や回復のため、砂浜や海に土砂を人工的に供給すること
- ※浜崖：砂丘が波で削られてできる崖

サンドパットのイメージ写真→



サンドパックは丈夫な合成繊維に砂を詰めたもので、海岸保全施設として新たに開発中の技術です。

このサンドパックを用いた護岸の可能性について、国土技術政策総合研究所と民間企業（自費）が検討を進めており、耐久性や利用者への安全性を検証するため、今回住吉海岸に試験的に設置されます。

なお、国土交通省は、試験結果等を踏まえ、宮崎海岸への適用性について総合的に判断する予定です。

○工事工程

作業内容	1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
工事用道路設置			←→						
養浜				←→	←→	←→	←→	←→	←→
サンドパック設置						←→	←→		
後片づけ									←→

※工程は天候等により前後する場合があります。

工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、工事に関するお問い合わせは「海岸よろず相談所（連絡先は下に記載）」にご連絡ください。

宮崎海岸の情報コーナーを設置しています

佐土原総合支所1F入口付近に宮崎海岸の情報コーナーを設置しています。

『海岸よろず相談所だより』のバックナンバーをはじめ、宮崎海岸の事業に関する資料を置いています。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。（さらに詳しい資料をご覧になりたい場合は、「海岸よろず相談所（連絡先は下に記載）」までご連絡ください。）

また、「ご意見投稿用紙」もご活用ください。



佐土原総合支所の入口を入ってすぐ右側です

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>





美しい海岸はみんなの宝物

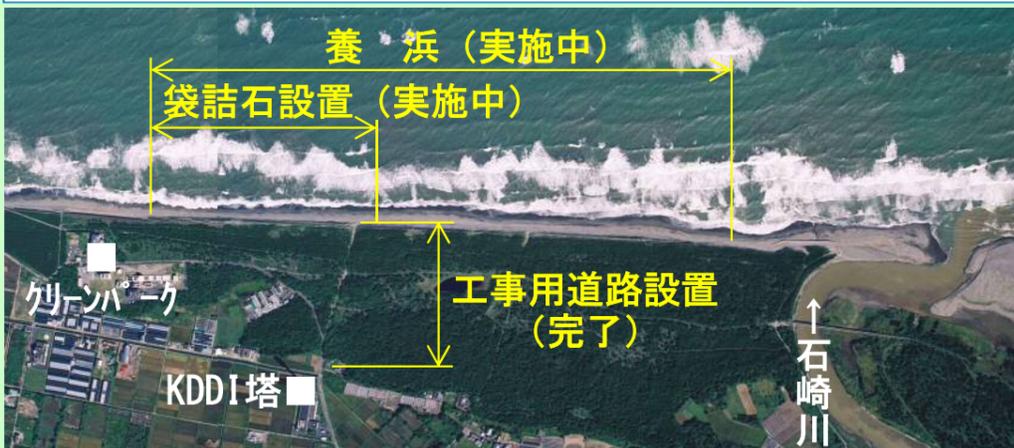
記事

- ◇ 大炊田海岸、住吉海岸応急対策工事の進捗状況
- ◇ ボランティア協力者を募集しています！
 ～「宮崎の海岸をみんなで美しくする会」～

大炊田海岸、住吉海岸応急対策工事の進捗状況

本誌第30号でお知らせしたとおり、国土交通省では砂丘のさらなる後退を抑制・軽減するための応急対策工事を大炊田海岸と住吉海岸で実施しています。工事は予定どおり進捗しており、3月下旬に完成予定です。工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、工事に関するお問い合わせは「海岸よろず相談所（連絡先は裏面に記載）」にご連絡ください。

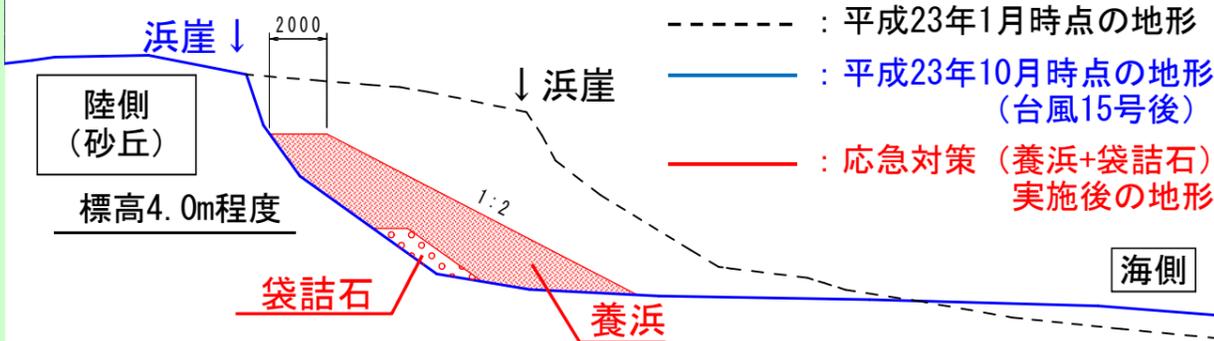
大炊田海岸：工事用道路設置が完了し、養浜・袋詰石設置の施工が本格化しています。



養浜・袋詰石実施中 (H24. 2. 10撮影)



○大炊田海岸の代表断面図



工事用道路設置完了 (H24. 1. 30撮影)



※養浜：砂浜の安定や回復のため、砂浜や海に土砂を人工的に供給すること
 ※浜崖：砂丘が波で削られてできる崖

住吉海岸：工事用道路設置が完了し、養浜の施工が本格化しています。



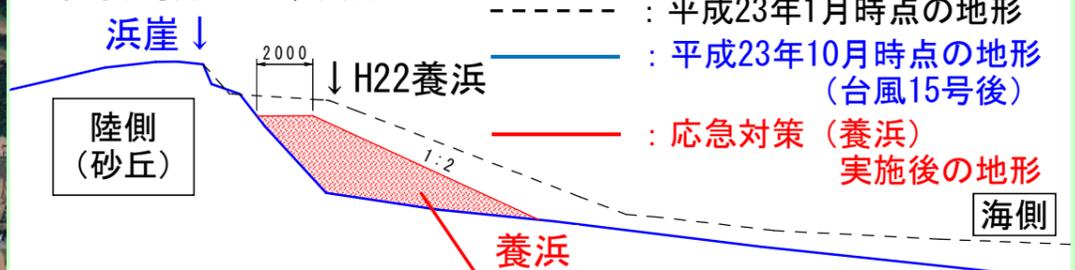
養浜実施中 (H24. 2. 16撮影)



工事用道路設置完了 (H24. 2. 10撮影)



○住吉海岸の代表断面図



ボランティア協力者を募集しています！

「宮崎の海岸をみんなで美しくする会(以下、美しくする会)」では、平成21年9月の準備会から月1回程度の会合を重ね、「海岸利用マナー周知の看板設置(平成23年3月実施)」、「車の乗り入れ口への植物の移植(平成23年7月、10月実施)」、「石崎浜ビーチクリーン(平成23年12月までに6回実施)」など、石崎浜の利用マナー向上をめざした活動を実施してきました。

今後は、これまでの活動の効果を具体的に検証することを目的に、石崎浜への車の乗り入れ状況調査を実施する予定です。

美しくする会では、この調査にご協力いただけるボランティアの方を募集しています。

調査は、石崎浜へ乗り入れている車の台数を記録していくかたちで、月1回程度(1回の調査時間は2時間程度)実施する予定です。海岸に興味のある方はどなたでもぜひ参加ください。

ボランティアについての詳しい内容のお問い合わせ、参加申込みについては、「海岸よろず相談所(連絡先は下に記載)」までご連絡ください。

石崎浜への車の乗り入れ状況調査のボランティア協力者を募集中です！

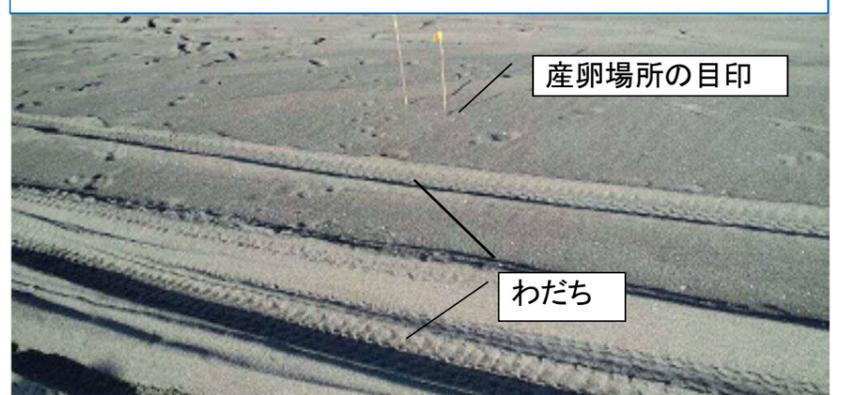


「石崎浜ビーチクリーン」の様子(平成23年10月)



宮崎の海岸をみんなで美しくしましょう！

アカウミガメの産卵場所のすぐそばを車が通り過ぎくっきりとわだちが残っている状態の砂浜(石崎浜にて)



産卵場所の目印

わだち

ふ化した仔ガメは無事海に帰れるでしょうか？

宮崎海岸は、県指定天然記念物「アカウミガメ及びその産卵地」に指定されていますが、砂浜への車の乗り入れによってできたわだちや人間の出したゴミが、産卵するカメや海に帰る仔ガメの行く手を遮る障害物となっているのが現状です。

美しくする会は、石崎浜をアカウミガメと人間が共存できる美しい砂浜として将来に残していくために、これからも活動を続けていきます。この活動の輪がひろがりますよう、美しくする会への参加・協力もお待ちしております。

なお、美しくする会主催の「第7回石崎浜ビーチクリーン」は、平成24年5月12日(土)の開催を予定しています。アカウミガメの産卵期を迎える前の海岸清掃です。今年も、美しい砂浜でアカウミガメを迎えましょう。

いつもみなさまのご協力ありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

かいがん そうだんしょ
○海岸よろず相談所○

こくどうつうしょう みやざきかせんこくどうじむしょ みやざきかいがんしゅつちようしょ
【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL : 0985-62-7050 / FAX : 0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報(宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>





サンドパックの現地実験を実施中

記事

- ◇ 「サンドパック現地見学会」を開催しました！
- ◇ 「第7回石崎浜ビーチクリーン」のご案内

「サンドパック現地見学会」を開催しました！

宮崎海岸では、本誌第30号でお伝えしましたとおり、昨年12月に、宮崎海岸侵食対策検討委員会において、①北からの流入土砂を増やす(養浜※等)、②南への流出土砂を減らす(突堤)、③浜崖※頂部高の低下を防ぐ(埋設護岸)という3つの機能が柱となった「宮崎海岸の侵食対策」が了承されました。

侵食対策のうち③の埋設護岸については、“できるだけナコンクリート以外の材料を使う”ことを目指しており、海岸保全施設として新たに開発中の技術である「サンドパック(丈夫な合成繊維に砂をつめた大きな袋)」を用いた護岸の可能性について、現在検討を行っているところです。

この検討に関連し、2月から住吉海岸砂浜(フェニックス自然動物園東)において、国土交通省国土技術政策総合研究所(茨城県つくば市)と民間企業3社(東京、静岡、福井)が技術開発のための現地実験を実施しており、3月10日(土)に一般の方々を対象とした現地見学会を開催しました。

参加した方々から、サンドパックの費用・耐久性、海外での施工事例などについて質問があり、国土交通省から、コンクリート構造物より安いか耐久性は劣る、オーストラリアや地中海等で実績があるなどの回答を行いました。

※養浜: 砂浜の安定や回復のため、砂浜や海に土砂を人工的に供給すること
※浜崖: 砂丘が波で削られてできる崖



現地見学会には約50人の参加がありました

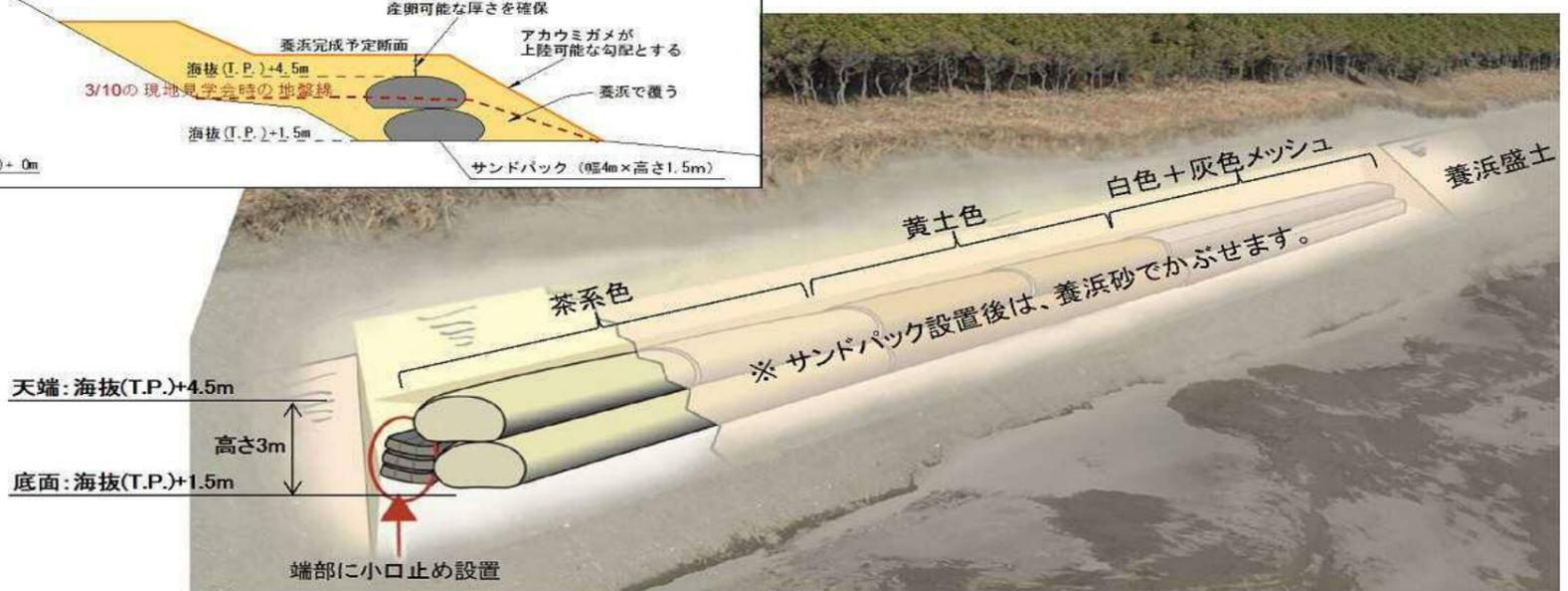
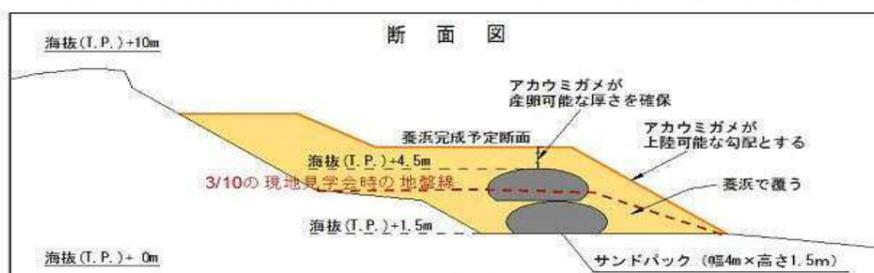


サンドパックについて質問する参加者

サンドパックの現地実験の概要

□ 現地実験の目的およびスケジュール(予定)

- ・施工性の確認(平成23年度中, 施工時)
- ・越波模擬実験により、越波時のサンドパック背後の土砂流出の有無を確認(平成23年度中, 施工後)
- ・越波模擬実験後は、サンドパックの表面を養浜で覆う。(平成23年度中)
- ・高波来襲時のサンドパックの安定性及び背後の土砂流出の有無を確認(平成24年度～)
- ・表面の養浜が流出してサンドパックが露出した場合の海岸利用者に対する安全性等を確認(平成24年度～)



全体イメージ

「第7回 石崎浜ビーチクリーン」のご案内

石崎浜の利用マナー向上をめざして活動が続けている「宮崎の海岸をみんなで美しくする会（以下、美しくする会）」では、アカウミガメの産卵期を前に、石崎浜ビーチクリーンを以下の日程で開催します。

どうぞみなさまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。一人でも多くの方のご協力を心よりお待ちしております。今年も、美しい砂浜でアカウミガメを迎えましょう。

○日時：平成24年5月12日（土） 8:00～（1時間半程度）

○場所：石崎浜（石崎川河口南側の海岸）

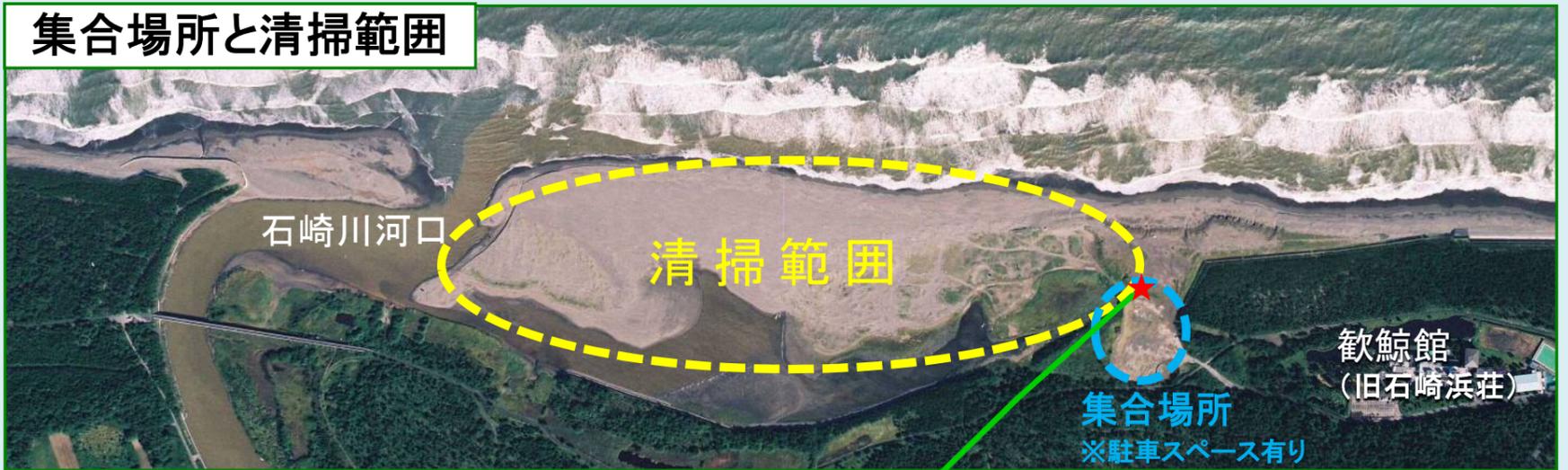
※軍手等は持参ください。ゴミ袋は主催者にて準備します。

※荒天時は開催を見合わせる場合があります。（当日連絡先：080-1531-6806〔中村〕）

※事前の参加申込みの必要はありません。当日、時間までに現地にお集まりください。

○問い合わせ先：海岸よろず相談所（連絡先は下に記載しています。）

集合場所と清掃範囲



みんなで力をあわせて、石崎浜を美しくしましょう！

美しくする会では、ボランティア協力者も募集中です。主な活動は、「月1回程度の会合」「石崎浜への車の乗り入れ状況調査」「石崎浜ビーチクリーン」です。美しくする会ボランティアへの参加申込み、お問い合わせは、「海岸よろず相談所（連絡先は下に記載）」までお願いいたします。

★集合場所の目印は、この看板です↓



※お車の場合は、乗り合わせでお越しください。ご協力をお願い申し上げます。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

かいがん そうだんしょ
○海岸よろず相談所○

こくどうつうしょう みやざきかせんこくどうじむしょ みやざきかいがんしゅつちょうしょ
【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

